

「水質事故時の初動対応は？やってはいけないことは？」 水質事故対応講習会を開催しました。

R1.6.3~6.7

河川部河川環境課



令和元年6月3日（月）～6月7日（金）に水質事故に携わる各河川事務所職員及び関係企業等を対象とした「水質事故対応講習会」を開催しました。1回2時間の講習を午前・午後に分け5日間（計10回）行い、合計203名の参加者が水質事故の初動対応など理解を深めました。

なお、10月には現地実習を行う予定です。

日時：令和元年6月3日（月）～6月7日（金）
いずれも10時～12時と14時～16時（計10回）

場所：近畿地方整備局

参加人数：合計203名（関係企業、関係自治体、河川管理者等）

主催：淀川・神崎川水質汚濁防止連絡協議会事務局

（河川部河川環境課）



水質事故対応講習会

《内容》

1. 平成30年度水質事故発生状況（近畿地方整備局）
2. 事故や災害時における環境汚染とその対策（谷口商会(株)小野氏）
3. 質疑応答

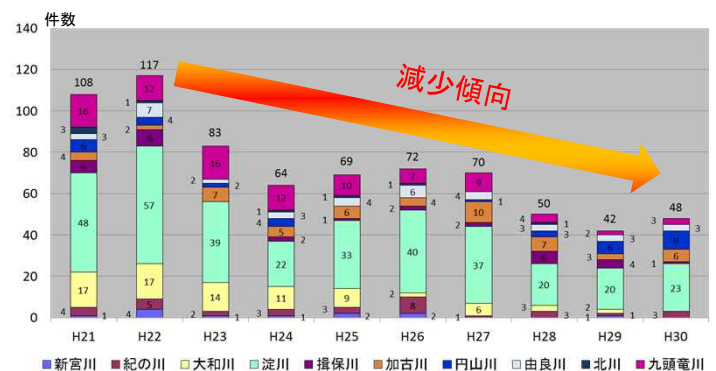
◎水質事故発生状況

近畿管内での水質事故の発生件数は年々減少傾向



再発防止のためには原因究明が必要。

連絡体制の確保と、速やかな情報共有を。



近畿管内の水質事故発生件数の経年変化

◎事故や災害時における環境汚染とその対策

「初動の対応」は？

路面では吸着材等で油を吸着させる。

水路では土のうなどで流出防止。

（河川に拡散すると対策費用も増加！）

現場でやってはいけないことは？

油の事故で「洗剤」や「油処理剤」は使用しない！

現場での注意事項

オイルフェンスの展張場所、川の流れ、風向等状況に応じた対策を確実に！



事故による油流出イメージ



油処理剤使用時の分散イメージ



オイルフェンスの展張場所説明



ロープワーク（もやい結び）

◎参加者の感想

- ・ 初動対応の重要性が分かった。
- ・ 講師の分かりやすい説明で、対応のやり方がよく理解できた。
- ・ もう少し長い時間かけてもいいと思います。ロープワークをもっとやりたかった。

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 河川部 河川環境課
〒540-8586 大阪市中央区大手前1-5-44 TEL 06-6942-0608

